

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

倫理カンファレンスは 1 度のみで開催であったが、個々の考えを発言することで個人情報の取り扱い、家族の立場になって考えることや接し方について共有でき倫理的に考える機会となった。ファミリーセンタードケアはコロナ渦で面会時間短縮により推進が難しいため、面会が家族にとって有意義なものとなるような支援が必要である。看護手順は 93 項目を見直し活用している。また、インシデント発生時は手順を迅速に修正し、安全な看護が行えるように努めた。看護記録の監査の点数は質的が 93.7 点・量的が 97.7 点で 90 点以上は維持しており、継続看護に結び付いていると評価する。

2) 病院経営に参画する

入院を断ることなく受け入れることができたが、NICU の稼働率は 4・5 月に入院患者数が少なかったため 86.6%であった。患児が在宅に帰れるよう 6B と連携を図り、退院前には地域の支援者とカンファレンスを開催するなど調整を行い継続看護に繋げている。R3 年度の SPD 紛失率は 7.58%で R2 年度の 4.9%より増加し目標が達成できなかったため、今後も注意喚起の継続が必要である。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

インシデント件数は 167 件と昨年の 128 件より増加した。確認不足によるインシデントが 8 割であり、指差呼称が習慣化できていない。自己抜管のインシデントも 4 件あり「Imsaffer 分析」を看護師長、副看護師長が 2 例、医療安全グループで 1 件、全体で 1 件実施した。分析が改善策に繋がるよう継続していく。感染予防に関しては MRSA が 25 件、ESBL4 件で目標を達成できていない。アルコールジェルの使用量が 11・12 月と減少したが 11 月後半より、個人携帯用のアルコールフォームを導入し、使用量は増加している。これに加え、手指消毒のタイミングを適切に行い感染予防に努めていく。

4) 専門職としての能力開発に努める

新人看護師の目標達成度の確認は 3 か月に 1 回のタイミングで行うことができ、技術習得に効果的であった。キャリアラダーでは教育委員を中心に、対象者にレベル認定申請に必要な研修について助言を行ったが、自ら研修参加を希望したスタッフが少ない状況であった。認定看護師の活動はリソース会議の日に 1 人は活動時間を取れるよう調整し、新人看護師の技術支援や、スタッフの看護実践への助言などを行い、ケアの質向上に努めている。また、スタッフに向けて看護倫理や痛みケア・ポジショニングについてなどの勉強会を開催することで知識の向上に繋がったと考える。

5) 看護の先輩として学生の指導に携わる

CE を中心にスタッフが学生に関心を持ち、説明したり、発問とティーチングを活用し実習計画に沿って指導を行った。学生からは、「自分の知りたいことを聞くことができた」という言葉が聞かれ、学びが実習記録に表れており、効果的な実習指導が行えていると評価する。

6) 活気ある職場、元気の出る職場づくりを推進する

超過勤務削減に関しては、リシャッフルを 15 時から 13 時 30 分に早めたこと、また管理師長に時間管理簿をファックスすることで、スタッフの時間管理に対する意識が向上した。R2 年度総超過勤務時間 NICU:5738 時間・GCU:2196 時間であったが R3 年度は NICU:3435 時間・GCU:1458 時間と減少した。入院患者数が R3 度 162 名、R2 年度が 178 名であり入院患者数にも大差がないため超過勤務時間は削減できたと評価する。

2. 病床運営状況

表 1 令和 3 年度 病床運営状況

看護単位	収容可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数(人)	平均在院 日数(日)	病床 利用率(%)	病床 稼働率(%)	死亡者数 (人)
			新入院患者数(人)	退院患者数(人)					
NICU	32	新生児科 小児外科	14.8	0.8	15.6	60.8	86.5	86.6	0
GCU	18		0.1	2.6	7.3	166.9	22.9	23.1	0

3. 看護体制

表 2 令和 3 年度 看護体制(令和 3 年 4 月 1 日現在)

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
62	PNS [®]	NICU 6:6 GCU 2:2

4. 看護統計

1) 部署データ

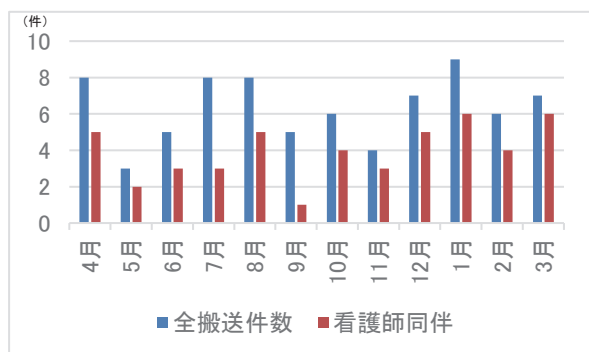


図 1 令和 3 年度新生児搬送件数

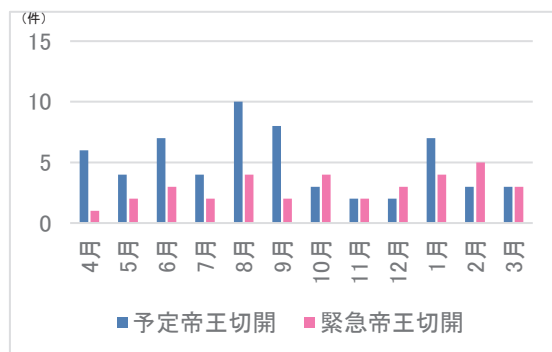


図 2 令和 3 年度帝王切開立ち合い件数

表 3 令和 3 年度 人工呼吸器装着患者数、手術件数

1 日平均人工呼吸器装着患者数(人)	手術件数(件)
4.1	20

表 4 令和 3 年度 出生体重別患者数

超低出生体重児		極低出生体重児 1500g 未満(人)	低出生体重児 1500g~2499g(人)	2500g 以上(人)
500g未満(人)	1000g 未満(人)			
2	18	25	83	57